



あか うぶごえ  
赤ちゃんはどうして産声をあげるの

う さいしよ な ごえ うぶごえ  
生まれたときの最初の泣き声が産声

あか かあ なか そと で はじ な ごえ うぶごえ  
赤ちゃんが、お母さんのおなかの中から外へ出たとき、初めてあげる泣き声が、産声です。

かあ なか あか かあ い  
お母さんのおなかの中では、赤ちゃんはお母さんと「へそのお」でつながって、生きていたのです。

うぶごえ はじ はいこきゅう  
産声は初めての肺呼吸

かあ なか う あか はい いちど くうき はい げんき  
お母さんのおなかの中から生まれた赤ちゃんは、肺に一度、空気が入り、それが元気よくはきだされます。これが、産声です。

うぶごえ あか はじ こきゅう かあ  
産声をあげることによって、赤ちゃんは、初めて呼吸をすることができ、お母さんのおなかの外でも、生きてゆくことができるようになったのです。（監修 保志 宏）

